

第1学期始業式式辞（令和5年4月10日）

皆さん、おはようございます。今日から、145年目の松山東高校が始まります。午後、入学してくる1年生360名を加えて、これまで築いてきた伝統を、さらに高く、広く、そして豊かに、未来につないでいきましょう。今日から始まる1年を、楽しみにしています。

この3年間は、新型コロナウイルス感染症のために、日常生活や学校生活に大きな影響を受けましたが、4月からは、学校生活でのマスクの着用を個人の判断とします。マスクのない状態で、より親近感がわくという人もいるでしょうし、不安な人、心配な人は、引き続き、マスクをしてもかまいません。このあと、校歌斉唱がありますが、前後、左右の間隔をとり、換気された今日の環境であれば、マスクなしで歌っても、マスクをして歌っても、どちらでもかまいません。皆さんの歌う東高の校歌を楽しみにしています。

一方で、この3年間で身に付けた基本的な感染対策、手洗いうがい、手指消毒、換気などは、再び、感染が広がらないようにするためにも。引き続きお願いします。

さて、この3年間は、コロナの影響だけでなく、情報化・グローバル化の進展によって、皆さんの学習面・生活面で大きな変化がありました。皆さんは、その変化を、前向きに、そして賢く受け止めて、学習、部活動、学校行事を両立、三立させながら、自分の目標の実現のために、努力を続けてきました。東高の伝統もさることながら、今ここにいる皆さんの頑張り、活躍が、また、充実した学校生活そのものが、母校だけでなく、地域や愛媛全体を元気にしていると、私は思っています。

今日から、3年生は最高学年になり、2年生は中堅学年となります。皆さんには、1年生を東高生として導いてあげてほしい、そのためには、皆さんが、引き続き元気に、目標に向かって努力する姿、挑戦する姿を見せること、それが大切だと思っています。それが一つ目のお願いです。口で言わなくても、見せつけなくても、1年生は、自然に皆さんの姿を見ています。皆さんもそうだったと思います。

そして二つ目は、1年生だけでなく、身の回りにいる人やお互いを慮る心を育ててほしいということです。繰り返すと、努力を続けること、挑戦すること、思いやりの心や感謝の心を持つこと、それらを大切にしながら、皆さんには、今よりも、高く広く自分を成長させ、豊かな未来を築いてほしいと願っています。

皆さんの学校生活がより充実したものになり、これからの東高が、ますます高く、広く、そして豊かな学校になることを期待して、式辞といたします。